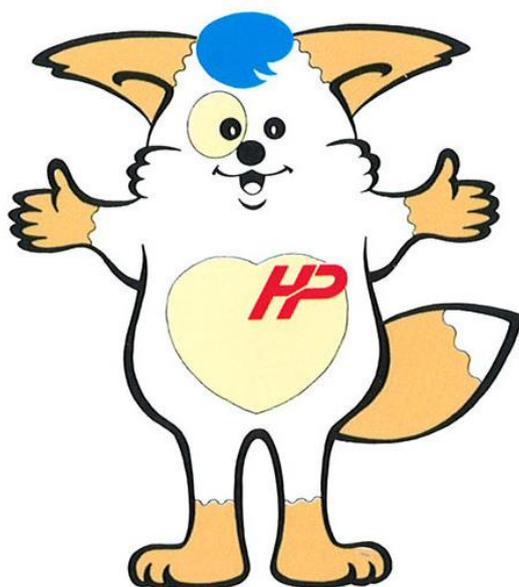


警察活動等に関する 道民の意識調査結果



令和2年11月

北海道警察本部

調査実施状況

1 調査目的

犯罪や事故のない安心して暮らせる北海道の実現に向けて、北海道警察の重要課題や主要施策について、道民の意識を調査してニーズを把握し、各種施策に反映させることを目的とする。

2 調査項目

(1) 調査対象者に関する事項

ア 性別（2区分）

男性、女性

イ 年代（5区分）

20歳代以下、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代

ウ 居住地域（4区分）

札幌市、人口10万人以上の市、同10万人未満の市、町・村

(2) 調査事項

ア 北海道の治安

イ 北海道警察の活動

ウ 特殊詐欺の認知度と対応状況等

エ インターネット空間における安全・安心について

3 調査方法

(1) 調査期間 令和2年7月中

(2) 調査地域 北海道全域

(3) 調査対象者 北海道に居住する運転免許更新者

(4) 調査対象数 1,279人（配布数）

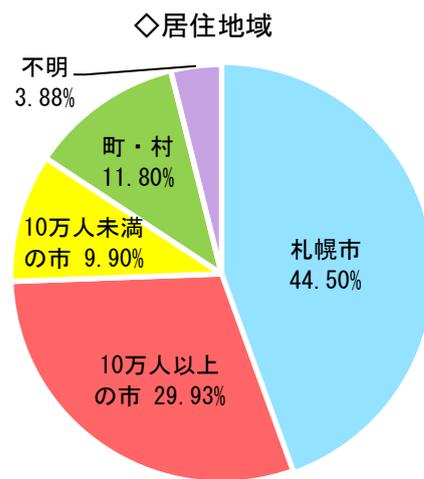
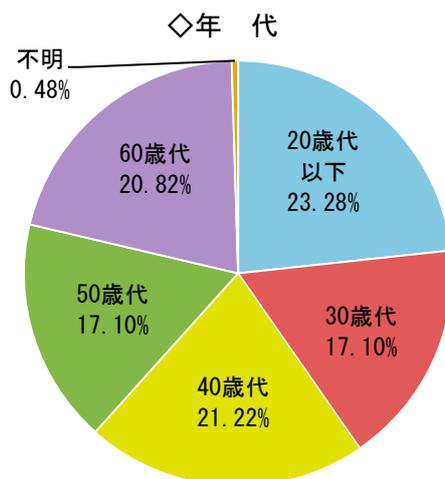
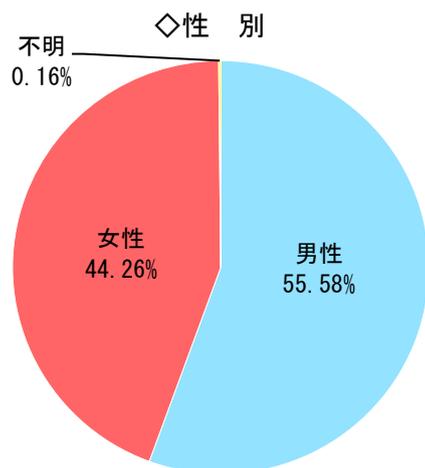
(5) 抽出方法 北海道内の運転免許試験場の免許更新者から無作為に抽出

4 調査対象者の概要

(1) 有効回答者（率）1,263人（98.75%）～全ての質問の半数以上を適切に回答した方

(2) 無効回答者（率）16人（1.25%）～有効回答者以外の方

5 有効回答者の構成



6 調査結果に関する留意事項

(1) 回答率

ア 原則として%（パーセンテージ・百分率）で表記しており、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点第2位までを表記している。

イ 回答率を合算する場合、実数から改めて割合を算出するため、本文中に表記された数値の合計に一致しないものもある。

(2) 複数回答

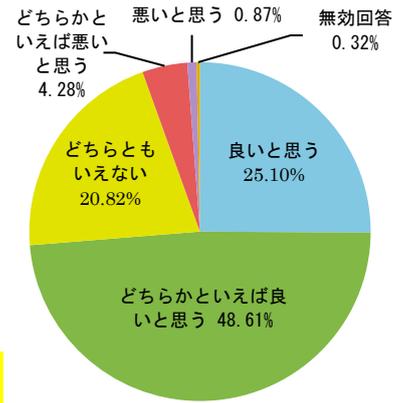
1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問（複数回答）の場合、通常その回答率の合計は100%を超える。

1 北海道の治安

問1 北海道の治安は良いと思いますか。

※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの

「良いと思う」	25.10% (-3.73pt)
「どちらかといえば良いと思う」	48.61% (+2.14pt)
「どちらともいえない」	20.82% (+1.28pt)
「どちらかといえば悪いと思う」	4.28% (+0.47pt)
「悪いと思う」	0.87% (-0.32pt)
「無効回答」	0.32% (+0.16pt)



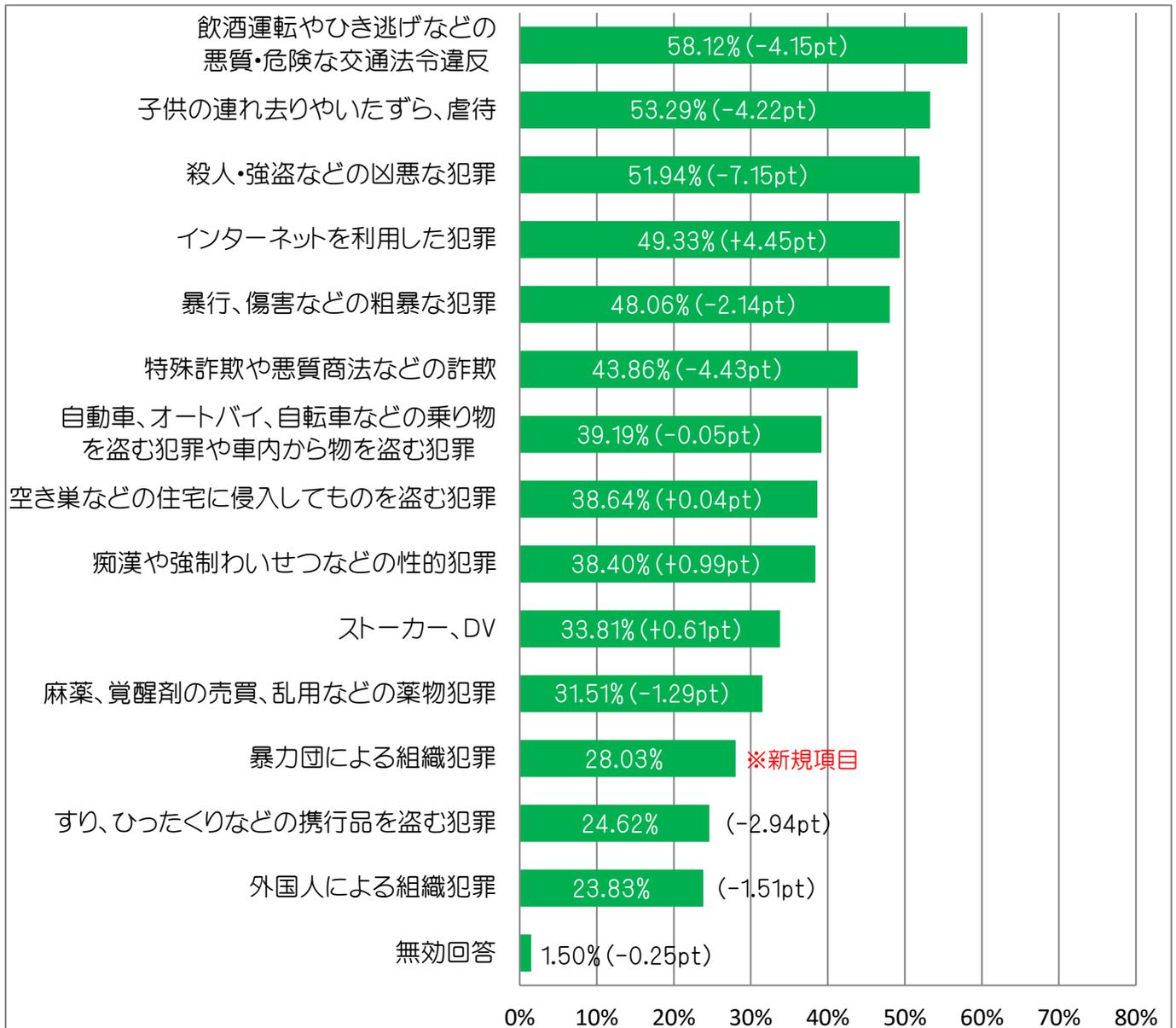
※「良い層」73.71% (-1.59pt)
「悪い層」5.15% (+0.15pt)

「どちらかといえば良いと思う」が最も多く約49%を占め、次いで「良いと思う」「どちらともいえない」となっています。一方で「悪いと思う」が最も少なく約0.9%でした。

「良い層」を合わせると約74%の方が「治安は良い」と思っています。

問2 不安を感じる犯罪や特に力を入れて取り締まってほしい犯罪は何ですか。(複数回答)

※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの



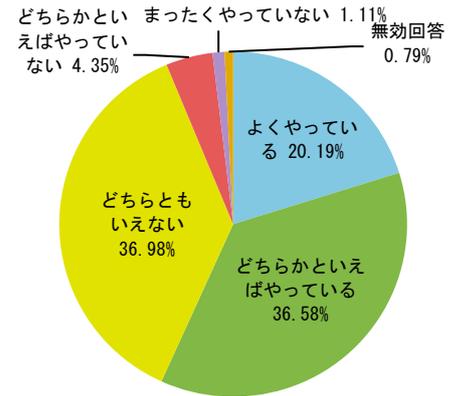
「飲酒運転やひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」が最も多く約58%を占め、次いで「子供の連れ去りやいたずら、虐待」「殺人・強盗などの凶悪な犯罪」となっています。

2 北海道警察の活動

問3 北海道警察の活動をどのように感じていますか。

※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの

「よくやっている」	20.19%	(-0.94pt)
「どちらかといえばやっている」	36.58%	(+3.46pt)
「どちらともいえない」	36.98%	(-1.62pt)
「どちらかといえばやっていない」	4.35%	(-0.02pt)
「まったくやっていない」	1.11%	(-0.64pt)
「無効回答」	0.79%	(-0.24pt)



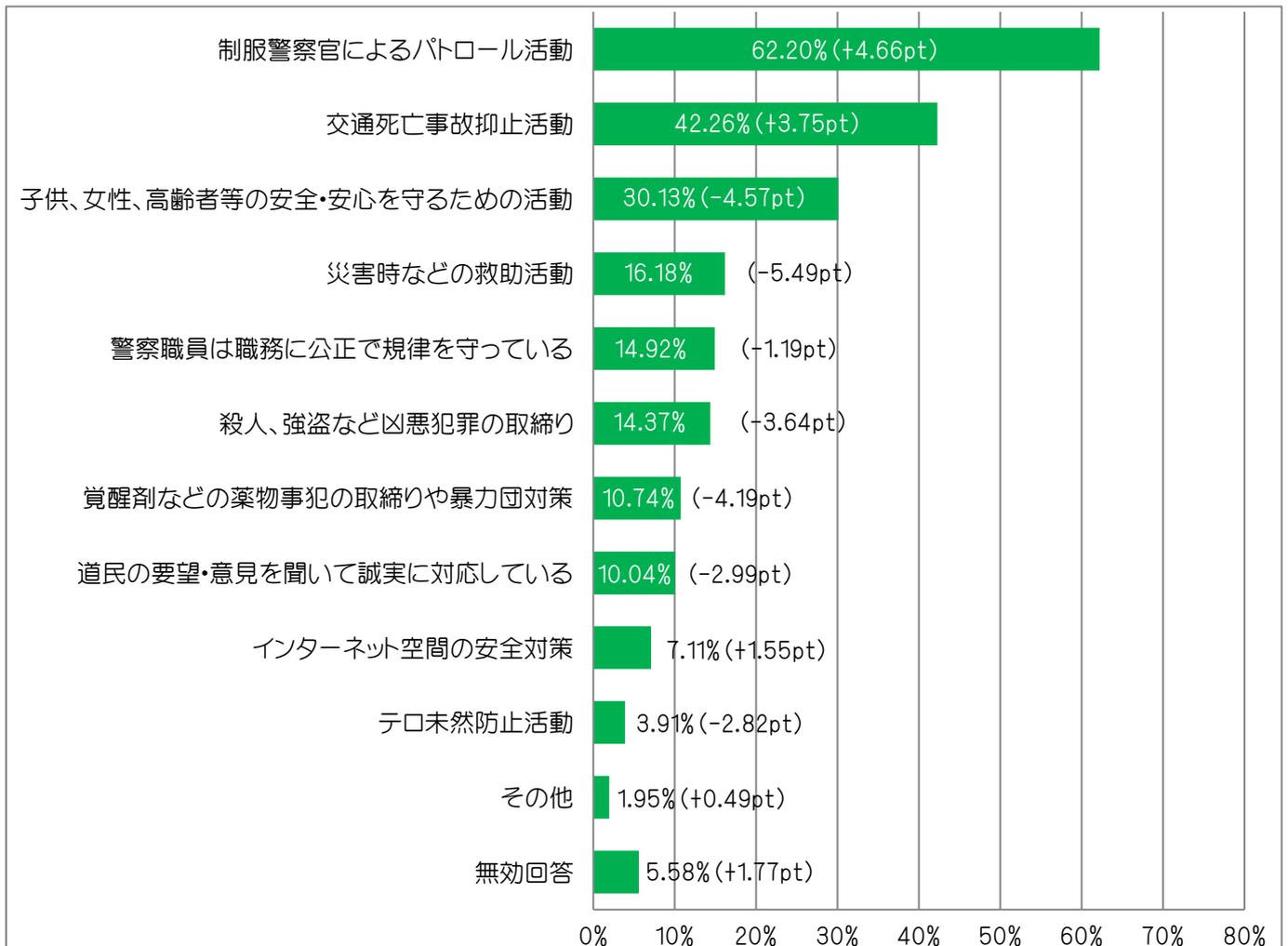
「どちらともいえない」が最も多く約 37%を占め、次いで「どちらかといえばやっている」「よくやっている」となっています。一方で「まったくやっていない」が最も少なく約1%でした。

「やっている層」を合わせると約 57%の方が「やっている」と感じています。

※「やっている層」 56.77% (+2.52pt) 問4参照
「やっていない層」 5.46% (-0.66pt) 問5参照

問4 問3で「よくやっている」「どちらかといえばやっている」と答えた方（56.77%）の理由（複数回答）

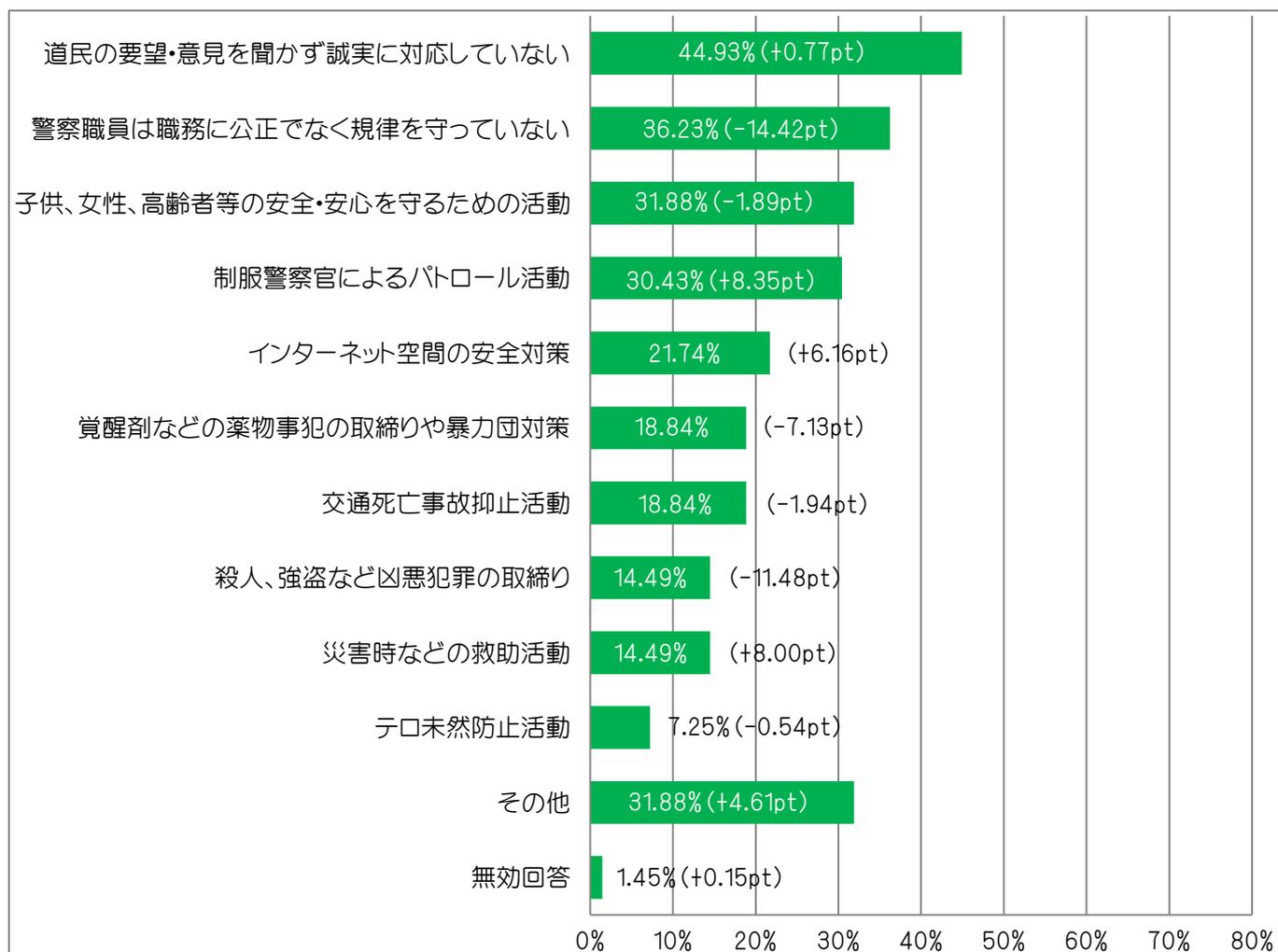
※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの



「制服警察官によるパトロール活動」が最も多く約 62%を占め、次いで「交通死亡事故抑止活動」「子供、女性、高齢者等の安全・安心を守るための活動」となっています。

問5 問3で「まったくやっていない」「どちらかといえばやっていない」と答えた方（5.46%）の理由（複数回答）

※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの

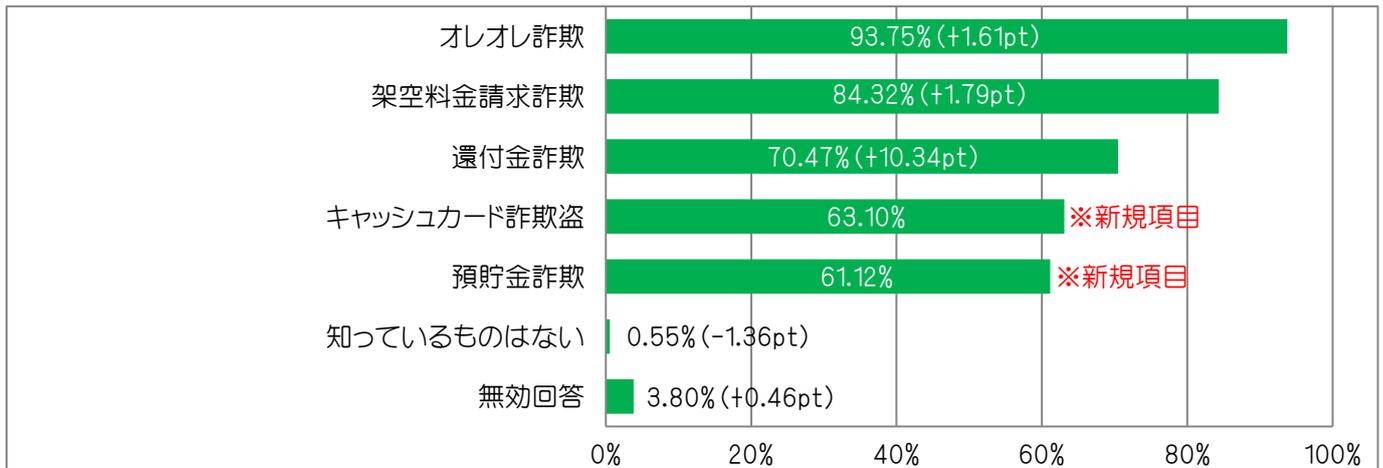


「道民の要望・意見を聞かず誠実に対応していない」が最も多く約45%を占め、次いで「警察職員は職務に公正でなく規律を守っていない」「子供、女性、高齢者等の安全・安心を守るための活動」となっています。

3 特殊詐欺の認知度と対応状況等

問6 特殊詐欺の手口としてどのようなものを知っていますか。(複数回答)

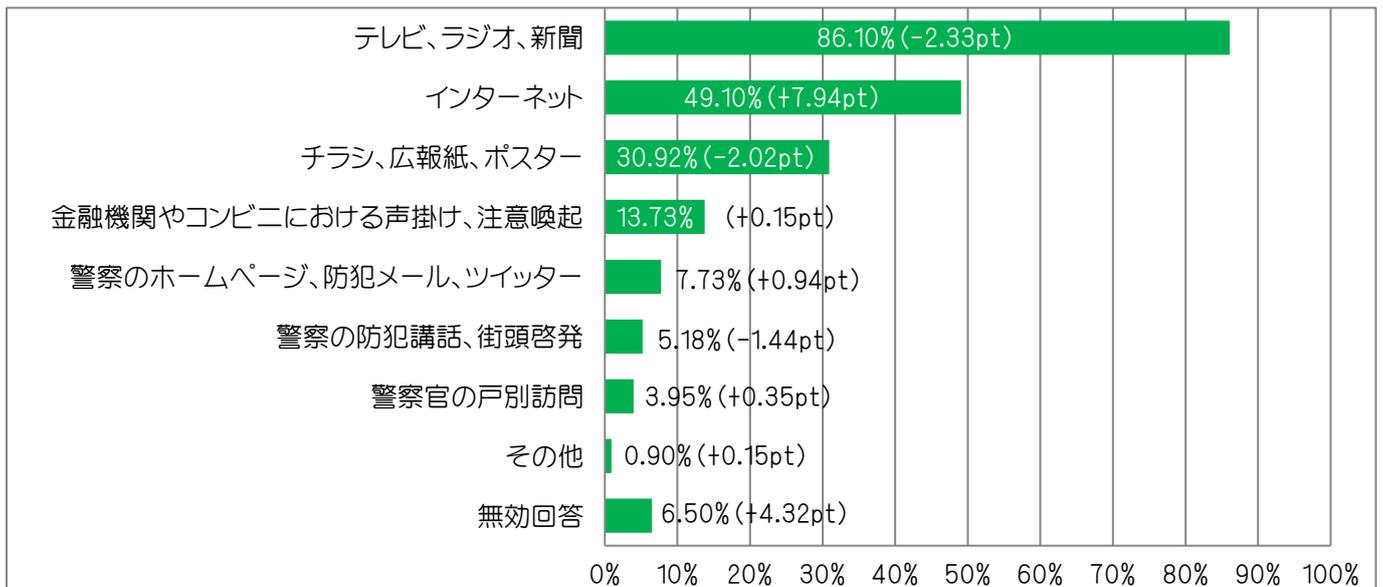
※ () 内の数値は、昨年調査時と比較したもの



「オレオレ詐欺」が最も多く約 94%を占め、次いで「架空料金請求詐欺」「還付金詐欺」となっています。

問7 問6で「知っている手口がある」と答えた方 (95.65%) で、手口などに関する情報はどのように入手していますか。(複数回答)

※ () 内の数値は、昨年調査時と比較したもの

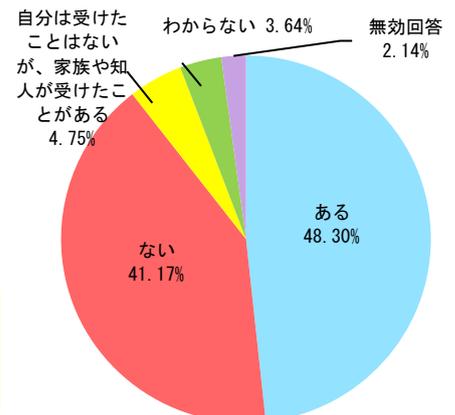


「テレビ、ラジオ、新聞」が最も多く約 86%を占め、次いで「インターネット」「チラシ、広報紙、ポスター」となっています。一方で「警察官の戸別訪問」が最も少なく約4%でした。

問8 今までに特殊詐欺と思われるメール、電話、はがき、封書を受けたことはありますか。

※ () 内の数値は、昨年調査時と比較したもの

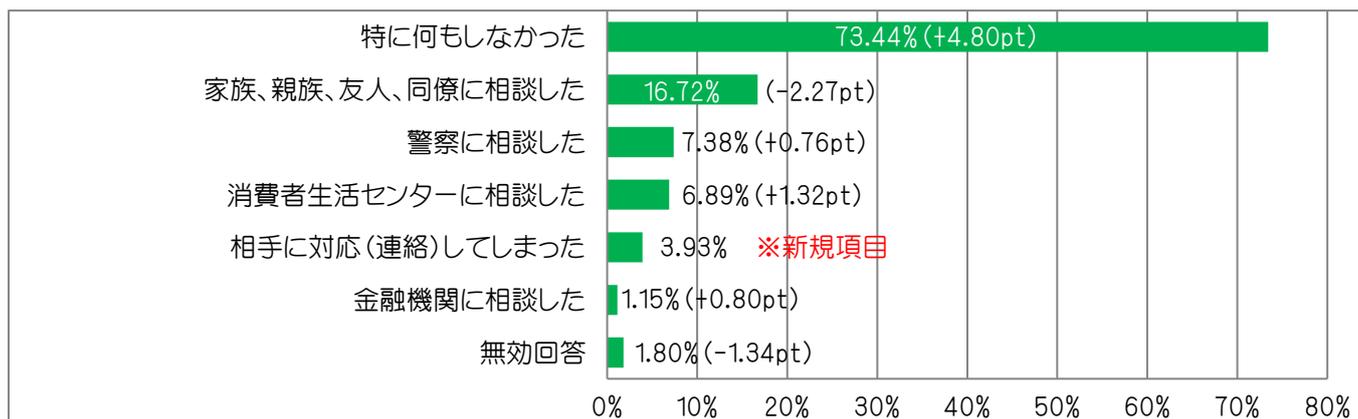
「ある」	48.30%	+2.71pt
「ない」	41.17%	-1.17pt
「自分は受けたことはないが、家族や友人が受けたことがある」	4.75%	-0.57pt
「わからない」	3.64%	-0.09pt
「無効回答」	2.14%	-0.88pt



「ある」が最も多く約 48%を占め、次いで「ない」「自分は受けたことはないが、家族や友人が受けたことがある」となっています。一方で「わからない」が最も少なく約4%でした。

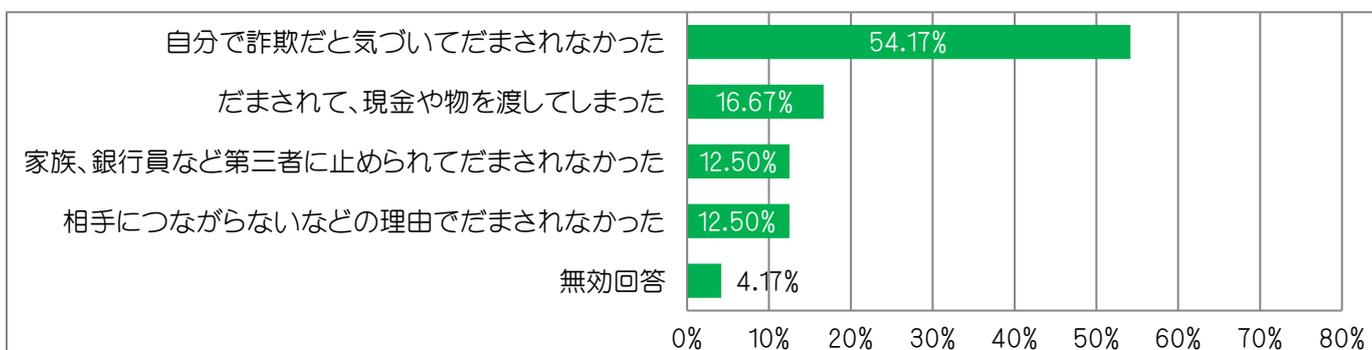
問9 問8で「ある」と答えた方(48.30%)の対応状況(複数回答)

※()内の数値は、昨年調査時と比較したもの



「特に何もしなかった」が最も多く約73%を占め、次いで「家族、親族、友人、同僚に相談した」「警察に相談した」となっています。

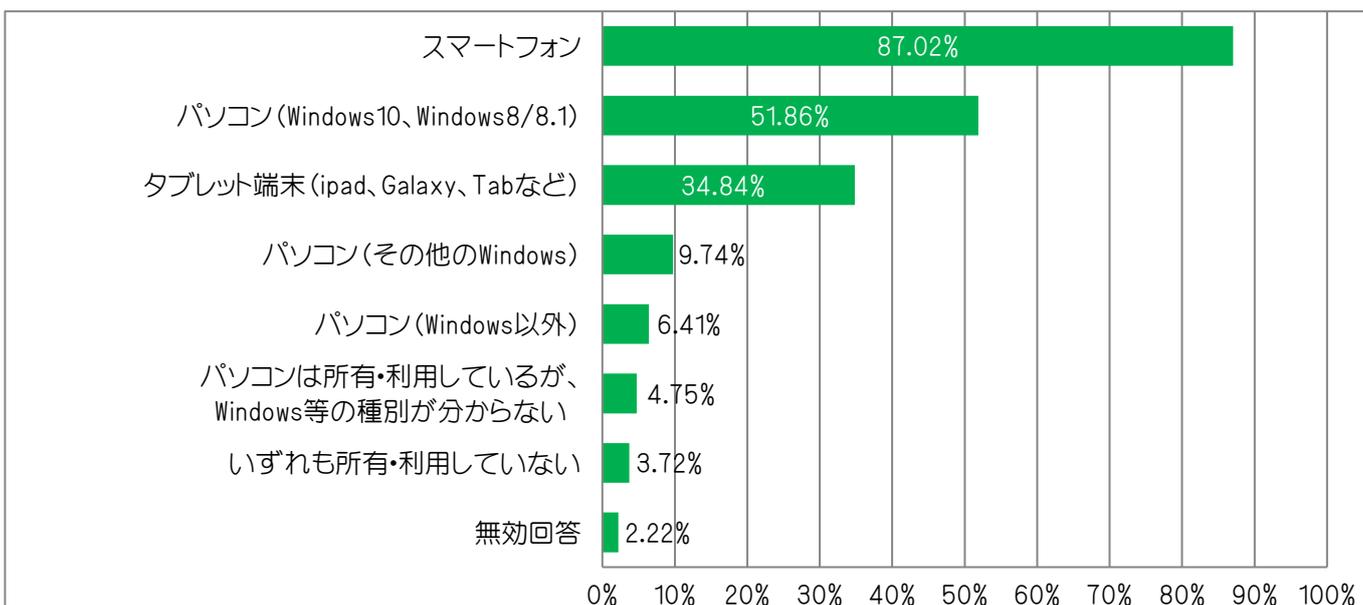
問10 問9で「相手に対応(連絡)してしまった」と答えた方(3.93%)の対応結果 ※新規質問



「自分で詐欺だと気づいてだまされなかった」が最も多く約54%を占め、次いで「だまされて、現金や物を渡してしまった」「家族、銀行員など第三者に止められてだまされなかった」などとなっています。

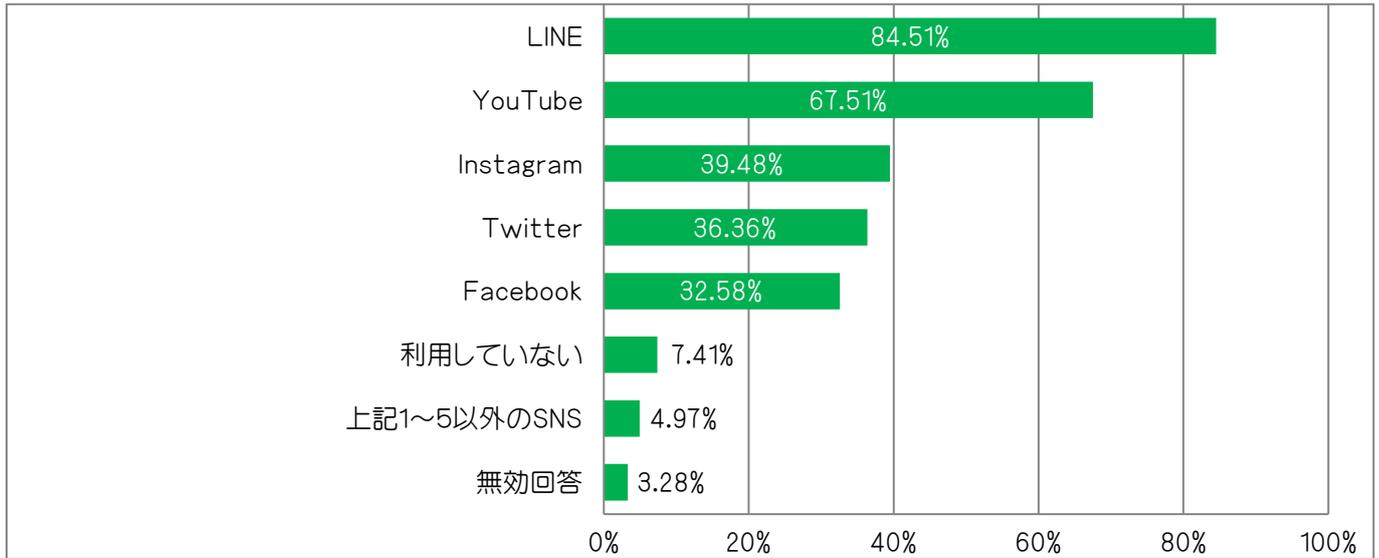
4 インターネット空間における安全・安心について

問11 個人、家庭又は職場において、パソコン、スマートフォン、タブレット端末を所有又は利用していますか。(複数回答) ※新規質問



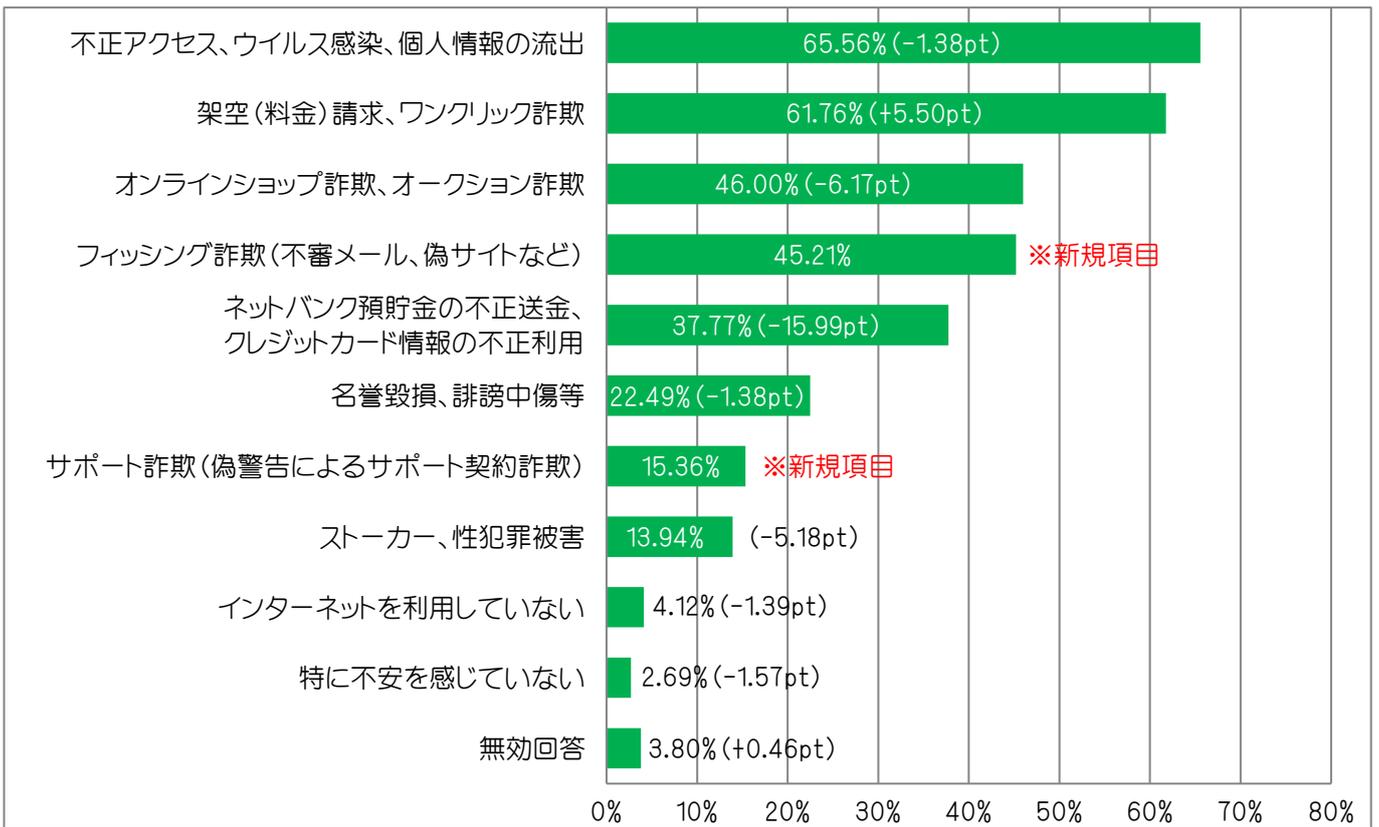
「スマートフォン」が最も多く約87%を占め、次いで「パソコン(Windows10、Windows8/8.1)」「タブレット端末(ipad、Galaxy、Tabなど)」となっています。

問 12 問 11 でいずれかの機器を所有又は利用していると答えた方 (94.06%) で、利用している SNS は何ですか。(複数回答) ※新規質問



「LINE」が最も多く約 85%を占め、次いで「YouTube」「Instagram」となっています。

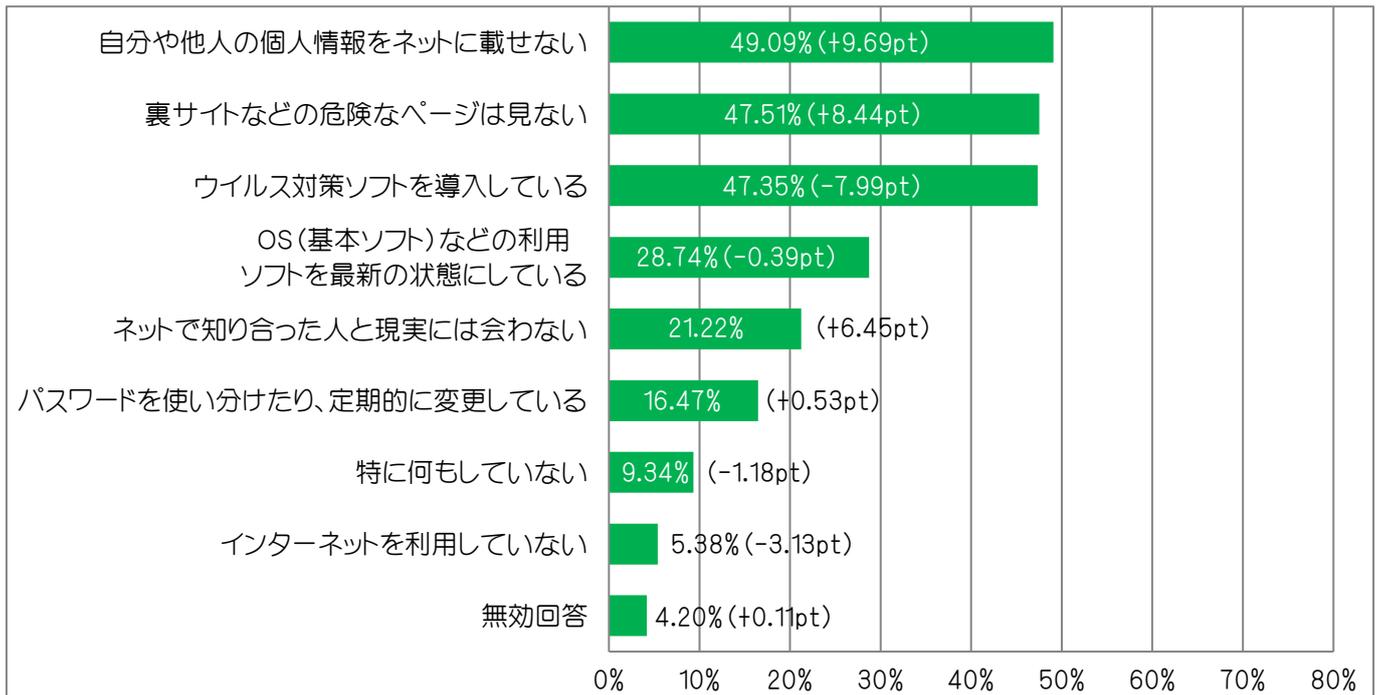
問 13 インターネット空間で、不安を感じる犯罪や被害は何ですか。(複数回答)
※ () 内の数値は、前回 (H30) 調査時と比較したもの



「不正アクセス、ウイルス感染、個人情報の流出」が最も多く約 66%を占め、次いで「架空(料金)請求、ワンクリック詐欺」「オンラインショップ詐欺、オークション詐欺」となっています。

問 14 インターネット空間での犯罪被害に遭わないために、どのような対策をしていますか。
(複数回答)

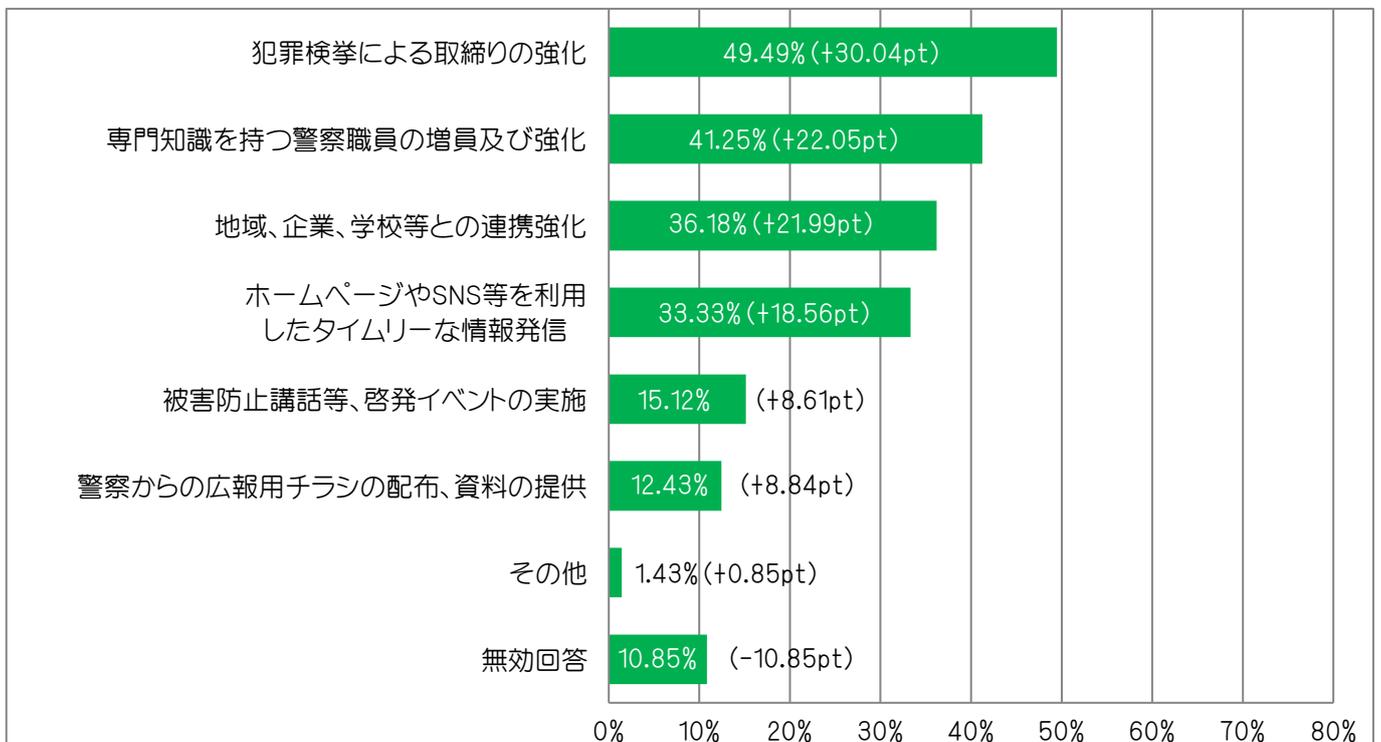
※ () 内の数値は、前回 (H30) 調査時と比較したもの



「自分や他人の個人情報をネットに載せない」が最も多く約 49%を占め、次いで「裏サイトなどの危険なページは見ない」「ウイルス対策ソフトを導入している」となっています。

問 15 インターネット空間の安全を守るため、警察にどのような活動を期待しますか。(複数回答)

※ () 内の数値は、前回 (H30) 調査時と比較したもの



「犯罪検挙による取締りの強化」が最も多く約 49%を占め、次いで「専門知識を持つ警察職員の増員及び強化」「地域、企業、学校等との連携強化」となっています。